

災害に備え、被害を減らす

～自らの命は自ら守る～



備蓄品の準備



大きな災害が発生した場合、国や自治体の支援が遅れることがあります。
最低7日間分の食料・飲料水や、生活必需品を備蓄しましょう。

家具の固定



家具が動いたり、倒れたりすると避難の障害物となります。
また、倒れた家具の下敷きになると、命に関わる場合もあります。



避難場所・経路の確認



何を持って、どこへ、どの経路で避難しますか？
経路にはブロック塀、山の斜面など危険箇所はありますか？
あらかじめ家族で話し合い、自身でも考えておきましょう。



©yamaco

今できる取組を



今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、大規模な訓練が中止される傾向にあります。
そんな今だからこそ、災害が起こったときのシミュレーションをするなど、家庭で防災について考えましょう。